

5.3 八戸工業大学大学院学位論文審査基準

【八戸工業大学大学院工学研究科修士学位論文審査基準】

（審査体制）

学位論文の審査は、主査1名及び副査2名以上の審査委員の合議で行う。

（審査項目と基準）

次の項目をすべて満たしていること。

1. 研究テーマの明確化
論文の問題設定が明確に示され、妥当性があること。
2. 学術的または社会的な貢献
学術的に一定の新規性または独創性があること、または社会の要請に応える可能性を持っていること。
3. 先行研究の理解と提示
研究テーマの探求に際して利用した資料や文献が適切に提示され、その内容が論旨を展開するうえで適切に言及されていること。
4. 研究方法の妥当性
研究テーマ探求のために採用された、理論、実験、シミュレーション、調査あるいは資料収集などの研究方法が適切であること。
5. 論証方法や結論の妥当性
問題設定から分析、結果、考察、結論までの論旨が、明確であり、かつ一貫していること。
6. 論文の形式・体裁
語句の使い方や文章表現が的確であること。学位論文としての体裁が整っていること。
文献等が正しく引用され、図表等の引用元が明らかにされていること。

【八戸工業大学大学院工学研究科博士学位論文審査基準】

（審査体制）

学位論文の審査は、主査1名及び副査2名以上の審査委員の合議で行う。

（審査項目と基準）

次の項目をすべて満たしていること。

1. 研究テーマの明確化
論文の問題設定が、当該分野の学問的蓄積を踏まえて明確に示され、妥当性があること。
2. 学術的または社会的な貢献
学術的に新規性または独創性があること。また社会の要請に応える高い有用性のある社会貢献となり得ること。
3. 先行研究の理解と提示
研究テーマの探求に際して、利用した資料や文献が網羅され、その内容が論旨を展開するうえで適切に言及されていること。
4. 研究方法の妥当性
研究テーマ探求のために採用された、理論、実験、シミュレーション、調査あるいは資料収集などの研究方法が適切かつ効果的に用いられていること。
5. 論証方法や結論の妥当性
問題設定から分析、結果、考察、結論までの論旨が、明確で実証的かつ論理的に展開されていること。
6. 論文の形式・体裁
語句の使い方や文章表現が的確であること。学位論文としての体裁が整っていること。文献等が正しく引用され、図表等の引用元が明らかにされていること。